

# 「見方・考え方」を働かせる授業づくりの工夫 ～小学校家庭科～

第6学年題材名 クリーン大作戦(第2/4時)

《本時の目標(育成を目指す資質・能力)》

清掃の必要性が分かり、適切な仕方を考える。(思考力, 判断力, 表現力等)

## こんな授業になっていませんか？

前回、教室や水道の写真を撮って、汚れがあることを知ったから今日は、掃除の計画を立てよう。その次は掃除の実践だな。

### 【教師の発問】

教室や水道には、たくさんの汚れがありましたね。今日は掃除の計画を立てましょう。



### 【児童の反応】

教科書に掃除の手順が書いてあったから、それを参考にすればいいのかしら。

毎日掃除をしているのに、計画を立てるのか…。面倒だな。



教師から一方的に課題を提示しているため、児童が掃除することに意欲的に取り組むことができません。これでは、掃除のどこに着目して考えればよいか分からず本時のねらいに迫る授業になりません。

## 「見方・考え方」を働かせる意識をフラス！

### 「生活の営みに係る見方・考え方」とは

家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること。

### 「生活の営みに係る見方・考え方」における内容と視点



主として捉える視点は大きい丸で示している

中央教育審議会「家庭、技術・家庭ワーキンググループにおける審議の取りまとめ」より (H28年4月)

### 児童が「見方・考え方」を働かせるためには

## 日常生活を見つめさせ生活に生かす課題を設定し問題解決的な学習活動を行いましょう。

家庭科は、自立し共に生きる生活を創造する教科です。児童が日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けて様々な解決方法を考え、計画を立てて実践し、その結果を評価・改善し、さらに家庭や地域で実践するなどの一連の学習過程を効果的に取り入れることが、資質・能力の育成につながります。「生活の営みに係る見方・考え方」に示される四つの視点は、すべての内容に共通する視点であり、相互に関わり合うものです。

したがって、教師は、取り上げる内容や題材構成等によって、いずれの視点を重視するのかを適切に定めることが大切です。そして、重視する視点に基づき、「なぜ」「いつ」「どのように」のような問い掛けから、児童が生活事象のどこに着目して考えるのかといった学習の方向性を導くことができます。また、対話的な学習活動を効果的に設定し、児童が多角的に考え、自分の考えを深めることができるような学習活動を設定することも大切です。

## 授業を こう変える！

- ・「どうして汚れがあるのか」と問い掛けることで、日常生活の中から問題を見だし、課題の設定へつなぐようにする。…<sup>1</sup>
- ・課題の解決に向けて、対話的な学習活動を取り入れることで、多様な視点から多角的に考え、解決方法を工夫できるようにする。…<sup>2</sup>
- ・「環境に配慮した工夫」を考える問いを設けることで、別の視点から問題を捉え、更によりよい方法を工夫できるようにする。…<sup>3</sup>

## このような授業にしていきたいと思います！

### 【生活を見つめ課題設定へつなぐ工夫】…1



みんなが撮影した写真から、教室や水道の周りには様々な汚れがあることが分かりましたね。毎日掃除をしているのに、汚れていましたね。このままでいいですか？

【健康・快適・安全】

このままだと、体によくないよね…。



こんなに汚れていたら新しい一年生が来るのに恥ずかしいわ。



〈児童の姿〉  
汚れの現状を[健康・快適・安全]の視点から考えています。



では、どうして汚れがあるのでしょうか？

テレビの下に綿ぼこりが多かったな。見えていない場所だから、ぼこりが取れていないのかもしれない。



たわしだけでは、水道周りの石けんかすまで落とせないからだと思う。



〈児童の姿〉  
日常の掃除の方法から、問題点を見いだしています。

### 【対話的な学習活動の工夫】…2



綿ぼこりや石けんかす、テレビの下や水道周りなど、汚れや場所に合った掃除の方法がありそうですね。では、どうしたらきれいになるのでしょうか？ 班で考えてみましょう。

【健康・快適・安全】

ぼくたちの班は水道周りだね。水って、結構はねているんだよね。水道の周りにもはねているから驚きだね。

班で意見交換する



私の家では古い歯ブラシを使っているわ。細かいところを磨きやすいの。

石けんかすをアクリルたわしを使って落としてみたらどうか。家でやっているよ。

これ、見て。石けんかすの落とし方、このサイトに載っていたよ。結構簡単に落ちるんだね。

〈児童の姿〉  
自分が気付かなかった視点や多様な考えに触れることで、多角的に考えています。普段の掃除で落ちなかった汚れに着目しながら、どうしたら汚れが落ち、清潔になるのか、解決方法を工夫しています。

### 【別の視点から捉えさせる工夫】…3



一つの汚れでもいろいろな落とし方があるようですね。古い歯ブラシを再利用するといった環境のことを考えた工夫もあり、素晴らしいですね。そのような工夫がほかにもありますか？

【持続可能な社会の構築】

洗剤を使わないで、酢を薄めた液を使うこともできるみたいだよ。できるだけ洗剤を使わないことも環境のことを考えた方法だと思う。



水の量を少なくすることも当てはまるよね。いつもの掃除では、水道の水を出しっぱなしだったから、必要な量だけ出すことが大切ね。



〈児童の姿〉  
環境に配慮した工夫という投げ掛けにより、新たに[持続可能な社会の構築]の視点からよりよい方法を考えています。

## ほかの学習場面で「見方・考え方」を働かせている例

### 題材の振り返りの場面で



それぞれの班で担当した場所の発表を聞きましょう。掃除をする前とした後の写真を見て比べてみましょう。

ぼくたちは、廊下を掃除しました。掃除をする前は、写真のようにぼこりが端の方にたまっていました。工夫したことは、掃除機を使ったことと手順を考えたことです。掃除をしている間にぼこりが舞うと考えたので、まずほうきで掃いてから、最後に掃除機を使って吸い取りました。



〈児童の姿〉  
実践前と実践後の写真を見比べ、主に[健康・快適・安全]の視点から、問題を解決した方法について振り返っています。日常生活に必要な知識が質的に高まっています。